

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1747	課コード	0407	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	就労支援事業	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・企業立地推進課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	令和2年度 ~		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.27人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	3,668千円 (うち人件費 2,349千円)	(変更後)	4,068千円 (うち人件費 2,349千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21402	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	雇用の安定を図るため、ハローワークや千葉県と連携しながら、求職者を対象とした我孫子地域職業相談室による雇用相談を充実するとともに、子育て中の母親や中高年者を対象とした千葉県ジョブサポートセンターによる再就職支援セミナーを開催するなど、就労支援の充実を図ります。			事業目的	雇用関連情報の発信を行うと共に求職者の能力を底上げすることで、就業機会の拡充を図る。				
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> 若年者の就労支援を推進する「ジョブカフェちば」や、中高年齢者・子育て中の母親の就労支援を推進する「千葉県ジョブサポートセンター」等と連携して、求職者の能力を底上げするようなセミナーを市内で開催する。 就業機会の拡充を図るために、雇用関連情報の収集発信を行う。 就労に至らない若者ややんでいる保護者に、個別面談及び訪問支援を行う。 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> 求職者の能力を底上げするようなセミナー（若者支援セミナー・再就職セミナー）を開催する。 市HPにより雇用関連情報を発信する。 若者及び若者の保護者に対し、個別面談、訪問支援を行い就労に繋げていく。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、テレワークの推進が強く求められる中、様々な事情により自宅での勤務が難しい市民がテレワークを行うことを促進するため、市内の宿泊施設を利用し、テレワークを行った者に対し、我孫子市宿泊施設の利用によるテレワーク促進補助金（1回2,000円上限）を交付セミナーの開催数 				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	求職者の能力を底上げする。			直接	セミナーの開催数		回	6	9	
令和3年度	求職者の能力を底上げする。			直接	セミナーの開催数		回		9	
令和4年度	求職者の能力を底上げする。			直接	セミナーの開催数		回		9	
(7) 事業実施上の課題と対応	当該事業の継続性は、県の機関である「ジョブカフェちば」や「千葉県ジョブサポートセンター」の無料出張セミナーがいつまで行われるかによる。そのため、県に対して引き続き無料出張セミナー事業を行うよう要望していくとともに近隣のセミナーの周知を図る。ニートや引きこもり等の若者については、長期的な支援が必要となるため、費用対効果は現れにくい。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		<ul style="list-style-type: none"> 松戸雇用促進協会負担金 50 消耗品(セキパフン/色上質紙) 4 出張旅費(雇用関係協議会) 2 駐車場料金(雇用セミナー参加) 1 若者自立支援業務委託料 463 2号嘱託職員報酬・共済費・費用弁償 793 		<ul style="list-style-type: none"> 松戸雇用促進協会負担金 50 消耗品(色上質紙・コピー用紙) 11 出張旅費(雇用関係協議会) 2 駐車場料金(雇用セミナー参加) 1 若者自立支援業務委託料 488 就労支援事業に係るパート会計年度任用職員(事務) 0.3人 報酬 2,016千円×0.3人 605 期末手当 142千円×0.3人 43 共済費 349千円×0.3人 105 費用弁償 45千円×0.3人 14 テレワーク促進補助金(5月補正専決) 400 		<ul style="list-style-type: none"> 松戸雇用促進協会負担金 50 消耗品(色上質紙・コピー用紙) 11 出張旅費(雇用関係協議会) 2 駐車場料金(雇用セミナー参加) 1 若者自立支援業務委託料 488 就労支援事業に係るパート会計年度任用職員(事務) 0.3人 職員報酬 2,016千円×0.3人 605 期末手当 142千円×0.3人 43 共済費 349千円×0.3人 105 費用弁償 45千円×0.3人 14 		<ul style="list-style-type: none"> 松戸雇用促進協会負担金 50 消耗品(色上質紙・コピー用紙) 11 出張旅費(雇用関係協議会) 2 駐車場料金(雇用セミナー参加) 1 若者自立支援業務委託料 488 就労支援事業に係るパート会計年度任用職員(事務) 0.3人 報酬 2,016千円×0.3人 605 期末手当 142千円×0.3人 43 共済費 349千円×0.3人 105 費用弁償 45千円×0.3人 14 		
		予算(決算)額	合計	1,313	合計	1,719	合計	1,319	合計	1,319
		国庫支出金	補助率	0%	補助率	100%	補助率	0%	補助率	0%
県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
一般財源		1,313		1,319		1,319		1,319		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
換算人数(人)		0.33		0.27		0.33		0.33		
正職員人件費		2,904		2,349		2,871		2,871		
嘱託職員報酬額		793		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		4,217		4,068		4,190		4,190		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		468.56千円/回		452千円/回						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討	
	ハローワークの求人情報、多様な求人内容に合わせるべく、求職者の能力、スキルを底上げし、雇用機会の拡充を図る。ニート、引きこもりの若者をNPO法人と連携して就労の機会を推進する必要がある。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他									
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容					実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 特になし								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容					実施した具体的な内容	環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 特になし								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	6	9	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(回) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託			実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>				
3.53										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.22		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				